

開講学科	基礎教育センター		前橋工科大学 シラバス																																																			
科目名	技術者倫理	標準対象年次	選択/必修	科目コード																																																		
		1年次	必修	12002101/12002102																																																		
担当教員	勅使川原 敏之	単位数	学期	曜日	時限																																																	
		2単位	前期	水曜日	3・5限																																																	
授業の教育目的・目標	1. 技術が社会および自然に及ぼす影響・効果、および技術者が社会に対して負っている責任に関して理解できる。 2. 社会から評価される「倫理実行」の手法を修得できる。																																																					
学科の学習・教育目標との関係	大学生として必要な教養と倫理観を身につける。																																																					
キーワード	倫理規程、安全文化、積極的倫理、利益相反、倫理問題、プロフェッショナル・エンジニア注意義務、コンプライアンス、説明責任、内部告発、職務発明。																																																					
授業の概要	技術者倫理を科学技術・法・倫理の3つの視点からとらえ、社会活動経験を交えた講義を行なう。公共を意識しながら自信と誇りをもって地域づくりに取り組む意欲ある技術者について考える。授業構成は日米のさまざまな事例を取り上げながら、社会的条件の違いや組織と個人の関係を踏まえた解説と、事例のディスカッションの2部構成となる。クラスでの積極的な発言は不可欠である。																																																					
授業の計画	<table border="1"> <tr> <td>第1回：</td> <td>技術者倫理概論（授業の進め方）</td> <td>ビデオ教材 社会人としての基本①</td> </tr> <tr> <td>第2回：</td> <td>第1章：モラルへのとびら</td> <td>ビデオ教材社会人としての基本②</td> </tr> <tr> <td>第3回：</td> <td>第2章：技術者と倫理</td> <td>ビデオ教材仕事のルールと社員の倫理</td> </tr> <tr> <td>第4回：</td> <td>第3章：組織のなかの個人の役割</td> <td>ビデオ教材スペースシャトル事故</td> </tr> <tr> <td>第5回：</td> <td>第4章：組織上の人間関係</td> <td>ビデオ教材仕事上の倫理・モラルとは</td> </tr> <tr> <td>第6回：</td> <td>第5章：倫理実行の手法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第7回：</td> <td>第6章：技術者のアイデンティティ</td> <td>ビデオ教材 JCO 東海事業所臨界事故</td> </tr> <tr> <td>第8回：</td> <td>第7章：技術者の資格</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第9回：</td> <td>第8章：事故責任の法の仕組み</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第10回：</td> <td>第9章：法的責任とモラル責任</td> <td>ビデオ教材会社に対する責任とは</td> </tr> <tr> <td>第11回：</td> <td>第10章：コンプライアンスと規制法令</td> <td>WEB教材技術者による設計不備の公表</td> </tr> <tr> <td>第12回：</td> <td>第11章：説明責任</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第13回：</td> <td>第12章：警笛鳴らし（または内部告発）</td> <td>WEB教材ソフトウェア持ち出し事件</td> </tr> <tr> <td>第14回：</td> <td>第13章：環境と技術者</td> <td>WEB教材開発と保護との共存</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第14章：技術者の財産的権利</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第15回：</td> <td>第15章：技術者の国際関係</td> <td></td> </tr> </table>						第1回：	技術者倫理概論（授業の進め方）	ビデオ教材 社会人としての基本①	第2回：	第1章：モラルへのとびら	ビデオ教材社会人としての基本②	第3回：	第2章：技術者と倫理	ビデオ教材仕事のルールと社員の倫理	第4回：	第3章：組織のなかの個人の役割	ビデオ教材スペースシャトル事故	第5回：	第4章：組織上の人間関係	ビデオ教材仕事上の倫理・モラルとは	第6回：	第5章：倫理実行の手法		第7回：	第6章：技術者のアイデンティティ	ビデオ教材 JCO 東海事業所臨界事故	第8回：	第7章：技術者の資格		第9回：	第8章：事故責任の法の仕組み		第10回：	第9章：法的責任とモラル責任	ビデオ教材会社に対する責任とは	第11回：	第10章：コンプライアンスと規制法令	WEB教材技術者による設計不備の公表	第12回：	第11章：説明責任		第13回：	第12章：警笛鳴らし（または内部告発）	WEB教材ソフトウェア持ち出し事件	第14回：	第13章：環境と技術者	WEB教材開発と保護との共存		第14章：技術者の財産的権利		第15回：	第15章：技術者の国際関係	
第1回：	技術者倫理概論（授業の進め方）	ビデオ教材 社会人としての基本①																																																				
第2回：	第1章：モラルへのとびら	ビデオ教材社会人としての基本②																																																				
第3回：	第2章：技術者と倫理	ビデオ教材仕事のルールと社員の倫理																																																				
第4回：	第3章：組織のなかの個人の役割	ビデオ教材スペースシャトル事故																																																				
第5回：	第4章：組織上の人間関係	ビデオ教材仕事上の倫理・モラルとは																																																				
第6回：	第5章：倫理実行の手法																																																					
第7回：	第6章：技術者のアイデンティティ	ビデオ教材 JCO 東海事業所臨界事故																																																				
第8回：	第7章：技術者の資格																																																					
第9回：	第8章：事故責任の法の仕組み																																																					
第10回：	第9章：法的責任とモラル責任	ビデオ教材会社に対する責任とは																																																				
第11回：	第10章：コンプライアンスと規制法令	WEB教材技術者による設計不備の公表																																																				
第12回：	第11章：説明責任																																																					
第13回：	第12章：警笛鳴らし（または内部告発）	WEB教材ソフトウェア持ち出し事件																																																				
第14回：	第13章：環境と技術者	WEB教材開発と保護との共存																																																				
	第14章：技術者の財産的権利																																																					
第15回：	第15章：技術者の国際関係																																																					
受講条件・関連科目	特になし																																																					
授業方法	テキストやWEB・ビデオを使用して、技術者倫理に関わる事件を討議する。レポート提出（100字程度）あり。																																																					
テキスト・参考書	杉本泰治・高城重厚著『第五版 大学講義 技術者の倫理 入門』丸善株式会社																																																					
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・試験（60%） ・レポートおよび受講態度（40%） ・その他 注意事項（100点満点で60点以上を合格とする） 																																																					
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの購入をお願いします。 ・事例を授業中に討議するので、事前にテキストを読み込み自分だったらどのような意思決定をするのか熟考して出席する。 ・試験資格は出席率70%（11回）以上である。30分以上遅刻は0.5回出席とする。 																																																					